



コモンズ30 +しづぎんファンド

〈月次報告書〉



● 基準価額の推移



● 基準価額の騰落率

(2017年9月29日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
3.65%	4.23%	12.48%	26.58%	24.20%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

● 分配実績

第1期 (2015年12月18日)	0円	第2期 (2016年12月19日)	0円
----------------------	----	----------------------	----

● 運用状況(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

◎9月のファンド月間リターンとその要因

9月のファンドの月間リターンは、3.65%の上昇となりました。

銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「ディスコ(+16.13%)」、「東京エレクトロン(+11.77%)」、「ホンダ(+8.15%)」となりました。ディスコは、月次受注が計画を上回るペースで推移していることや、米アップルの新製品発表による半導体製造装置関連銘柄への注目度の高まりが背景にあります。東京エレクトロンは、米国株市場での半導体関連株の活況が波及したとみられます。ホンダは、円安進行と米国での主力車種の量産開始が好感されました。

下位3銘柄は、「楽天(▲6.01%)」、「堀場製作所(▲5.64%)」、「ベネッセHD(▲4.02%)」となりました。楽天は、国内EC業拡大に向けた販促費増大で、収益への影響が懸念されたようです。堀場製作所は、電気自動車の中長期的な市場拡大が予想されるなか、同社の収益源の1つであるエンジン排ガス測定装置の将来性が心配されたようです。ベネッセHDは、子会社ベルリッツコーポレーションにおける留学事業の不振などによる通期業績予想の下方修正が響きました。

なお、ベビーファンドで直接投資している静岡銀行株式の月間騰落率は5.31%の上昇でした。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

◎運用責任者メッセージ

9月の内外金融市場は、月初は米朝関係の緊迫化にともない株式相場は下落しました。特に、国連安保理決議での制裁決議に北朝鮮が反発した局面では緊張感が高まりました。国内では衆議院が解散され総選挙を迎えることになりましたが、経済政策への期待がある一方で、選挙後の体制に対する不透明感も出始めています。また、米国他先進国が金融政策正常化に向かいつつある中で、日銀の緩和姿勢の継続はドル円の上昇をもたらし始めています。

こうした中、月末にかけては日経平均株価が2万円の大台を回復し、東証一部の時価総額も過去最高を更新しました(銘柄数の増加も主な要因)。

10月は、国内では総選挙の行方が注目テーマです。投票日までは、海外株高を受けて下値は固そうなイメージですが、選挙後の体制次第では経済・財政政策も転換点を迎える可能性があります。当ファンドは投票日までは、慎重なスタンスで臨む予定です。

最高運用責任者 伊井 哲朗

● ファンドのデータ

(2017年9月29日付)

基準価額	12,420円
純資産総額	442百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「コモンズ30+しづぎんファンドの費用」をご覧下さい)。

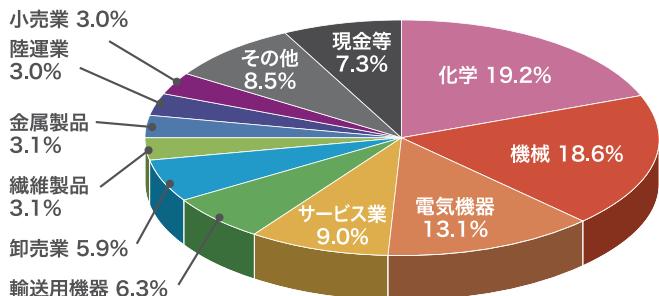
※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。

● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド (マザー)	92.0%	0.2%
静岡銀行株式	7.8%	0.0%
現金等・その他	0.2%	▲0.2%
構成銘柄	31社	0社

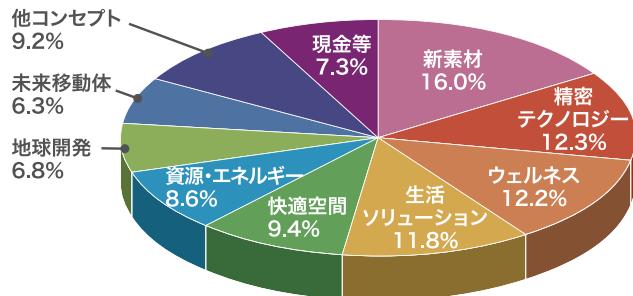
● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

◎ 業種別構成比



◎ 未来コンセプト別構成比

(2017年9月29日付)



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

● 組入上位10銘柄(静岡銀行株式を除く)

(2017年9月29日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要
8035	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社
4063	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性
6146	ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー
6326	クボタ	地球開発	日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与
6301	コマツ	地球開発	世界のインフラを作る日本のモノづくり力&IT力
4911	資生堂	ウェルネス	銀座も、アジアも、美しく
6856	堀場製作所	精密テクノロジー	「おもしろおかしく」、時代に合わせて領域を拡大
6902	デンソー	未来移動体	自動車市場拡大の恩恵を受ける
6367	ダイキン工業	快適空間	世界一快適な空気をつくる
9783	ベネッセHD	ライフサイクル	「よく生きる」を支援し、世界一の教育企業を目指す

◎ 未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

● 新規組入投資先

なし

● 今月のピック!

9月はディスコの株価が16.1%上昇しました。同社の7~8月の月次受注が計画を上回るペースで推移していること、米アップルの新製品「iPhone X(テン)」発表で半導体製造装置関連銘柄への注目度が高まったこと、などがプラス材料となりました。

スマートフォン市場の拡大や高機能化を背景に半導体デバイスの需要が拡大しています。中長期的にはIoT(Internet of Things:モノのインターネット)などの進展により、センサー、通信、コントロールなどの領域においても成長が期待されます。

ディスコの主力製品は、半導体デバイスのもととなるシリコンウエハーを1個1個のチップに切断する装置やシリコンウエハーの裏面を削り薄片化するための装置、消耗品(刃や砥石)、などです。半導体デバイス需要増や先端デバイスにおける微細化進展で、シリコンウエハーを“切る”、“削る”、“磨く”同社製品の良好な需要も当面続くと期待されます。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

●企業との対話

コモンズ30ファンドの投資先企業をお招きし、定期的に開催している「コモンズ30塾」。今回は、ダイバーシティをテーマに、日立製作所の取組みについてお話をいただきました。渋澤の挨拶から始まり、運用部シニアアナリストの末山から、「5つの軸」と「(日立をみる)コモンズの視点」について説明させていただきました。5つの軸とは、「収益力」「競争力」「経営力」「対話力」「企业文化」のことです。コモンズ投信が投資先企業を選ぶ時に、常に重視していることです。

そして、今回のメインテーマであるダイバーシティへの取組みについて、日立製作所人財統括本部ダイバーシティ推進センター部長代理の武内和子さんに登壇いただき、女性活躍支援からダイバーシティに至る20年を超えるこれまでの取組みの変遷や具体的な施策をお話しいただきました。

<講演抄録>https://park.commons30.jp/2017/10/blog-post_3.html

トークセッションでは、渋澤とのやりとりを通じて講演の中では語られなかった取組みを進めていく上での難しさや想いをお聞きすることができました。

その後、会場全体でバズセッションを行い参加していただいた方から時間いっぱいまで、たくさんの質問を頂戴しました。今まさに参加者が直面している課題に、武内様から日立での様々な事例を紹介いただきました。

今回のセッションで、育児と仕事の両立に悩む人に対して、「本人のやる気」と「上司(職場)の期待」がしっかりと認識し合えているからこそ、安心して仕事を続け、更なるキャリアを積んでいけるということを教えていただきました。そのことは本人、会社、両方にとってプラスであるということ、確信を持って進めいらっしゃることが伝わってきました。日本を代表する大企業日立のこうした取組みや発信に勇気付けられた参加者も多かったと思います。

今回の30塾の内容はコモンズ投信のブログにて詳しくレポートしていますので是非ご覧ください。

<トークセッション>日立製作所「ダイバーシティを推進するには対話が大事」

https://park.commons30.jp/2017/10/blog-post_61.html

<バズセッション>日立製作所「本人の意欲」と「上司の期待」

https://park.commons30.jp/2017/10/blog-post_4.html

コモンズ投信は対話を重ねることで企業の見えない価値を見出す努力を続けています。その営みは企業側に対話の姿勢があってこそ共同作業・共創(きょうそう)だと考えています。これからも私達はコモンズ30塾、ファンドの周年イベント、こどもトラスト、企業見学、そして投資先企業30社と共にワークショップなど、様々な対話の場を継続して開催し、目に見えない価値を運用に取り入れる努力を続けて参ります。

マーケティング部 横山 玲子



講演の様子

● ちょっといい話

【NYダウは100年後に100万ドル超える】

先月、世界的に有名な長期投資家のウォーレン・巴菲特氏が、「NYダウ30種平均が100年後には100万ドル超える可能性がある。」とコメントされ、話題になりました。NYダウは現在2万2千ドル強ですから、そんなに上がるの?と思われた方も多いと思いますが、ここから100年かけて100万ドルまで上がるということは年率では3.9%の上昇となります。実は、NYダウの過去100年は年率5.8%の上昇でしたから、そんなに高いハードルではありません。個人的には、87歳になった巴菲特氏が100年後を見ていることに改めてワクワクします。

さて、「米国の株なら長期上昇の可能性もあるけど、日本企業では無理でしょう。」との声が聞こえてきそうですが、確かに日経平均株価はまだピーク時の半値程度ですが、例えば、コモンズ30ファンドの組み入れ銘柄の中では、今年に入って、信越化学、資生堂、ディスコ、SMC、ダイキン工業、マキタ、堀場製作所(銘柄コード順)の7銘柄が“上場来高値”を更新しています。コモンズ30ファンドは、外部環境の変化に強く、進化を続けられる企業を投資対象としていますが、この上場来高値を更新した企業には長寿企業も多いです。会社設立は、資生堂1872年、信越化学1926年、ダイキン工業1934年、ディスコ1940年と第二次世界大戦前に設立されています。終戦、戦後のハイパーインフレ、オイルショック、為替自由化、日米貿易摩擦といった今では考えられないような荒波を超えて、長期的な企業価値の向上を実現させ、上場来高値を更新しているわけです。世界の政治をみると英国のEU離脱やトランプ大統領の登場など、政治面では内向きな時代に入り、北朝鮮問題などの地政学的なリスクも高まっています。それでも世界にいる74億人の人々の生活は続き、毎年7,000万人くらいのペースで2100年くらいまで人口増加は続きます。人々の暮らしが続く限り企業の事業機会は増え続けるわけです。世界情勢や短期的な株価の変動だけをみると不安になるかもしれません、世界の人口増加をベースとした長期的な企業の成長に目を向けると多くの投資機会もあることが分かります。

どんな環境下でも、コツコツと積立投資。これが資産形成のポイントです。引き続き、コモンズ30+しづぎんファンドにご期待ください。



コモンズ投信株式会社
代表取締役社長 伊井 哲朗

● コモンズ30+しづぎんファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

● コモンズ30+しづぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

● お申込みメモ

信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

● 販売会社一覧

販売会社名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第5号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第10号	○			